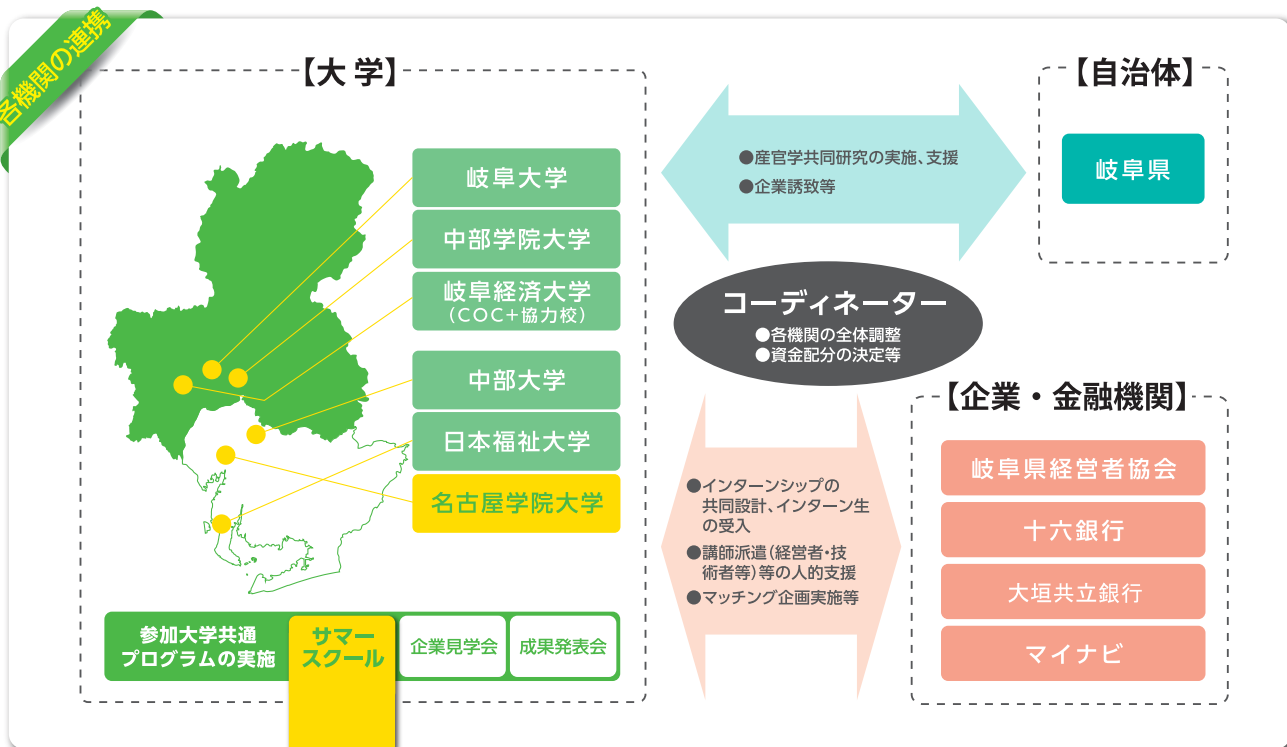


【COC+事業】事業協働機関

岐阜大学を中核とするCOC+事業「岐阜でステップ×岐阜にプラス 地域志向産業リーダーの協働育成」では、大学・自治体・企業・金融機関が連携して「ぎふCOC+事業推進コンソーシアム」を設置し、岐阜県の地方創生や若者の人材育成に関するプログラムを進めています。



ぎふCOC+参加大学共通プログラム(サマースクール)

COC+事業では、岐阜県における若者の地元定着率を上げることを目的として、岐阜県内の企業と大学生との接点を増やす企画や、産業界ニーズに適合した人材を育成する教育プログラムを実施しています。その一環として、大学間共通のサマースクールを2016年は岐阜県東濃地区で開催しました。このプログラムでは、地域を支えている方々や他のCOC+参加大学の学生と一緒に地域の「将来」を考えていきます。地域の現状や地元企業の理解を深め、自分の能力を磨き、今後のキャリアの選択肢を広げることを目的とし開催しました。

2016 多治見コース

地域の産業・観光振興計画とタイル産業の将来を考える!

多治見市は、日本一のタイルの街。タイルは、建物の外壁からかわいらしい雑貨まで、とても身近な存在です。多治見市全面協力のもと、ミュージアムや企業の見学を通して、産業振興や観光の可能性を考えました。

現
地
学

講
義

グルー
プ
ワ
ー
ク

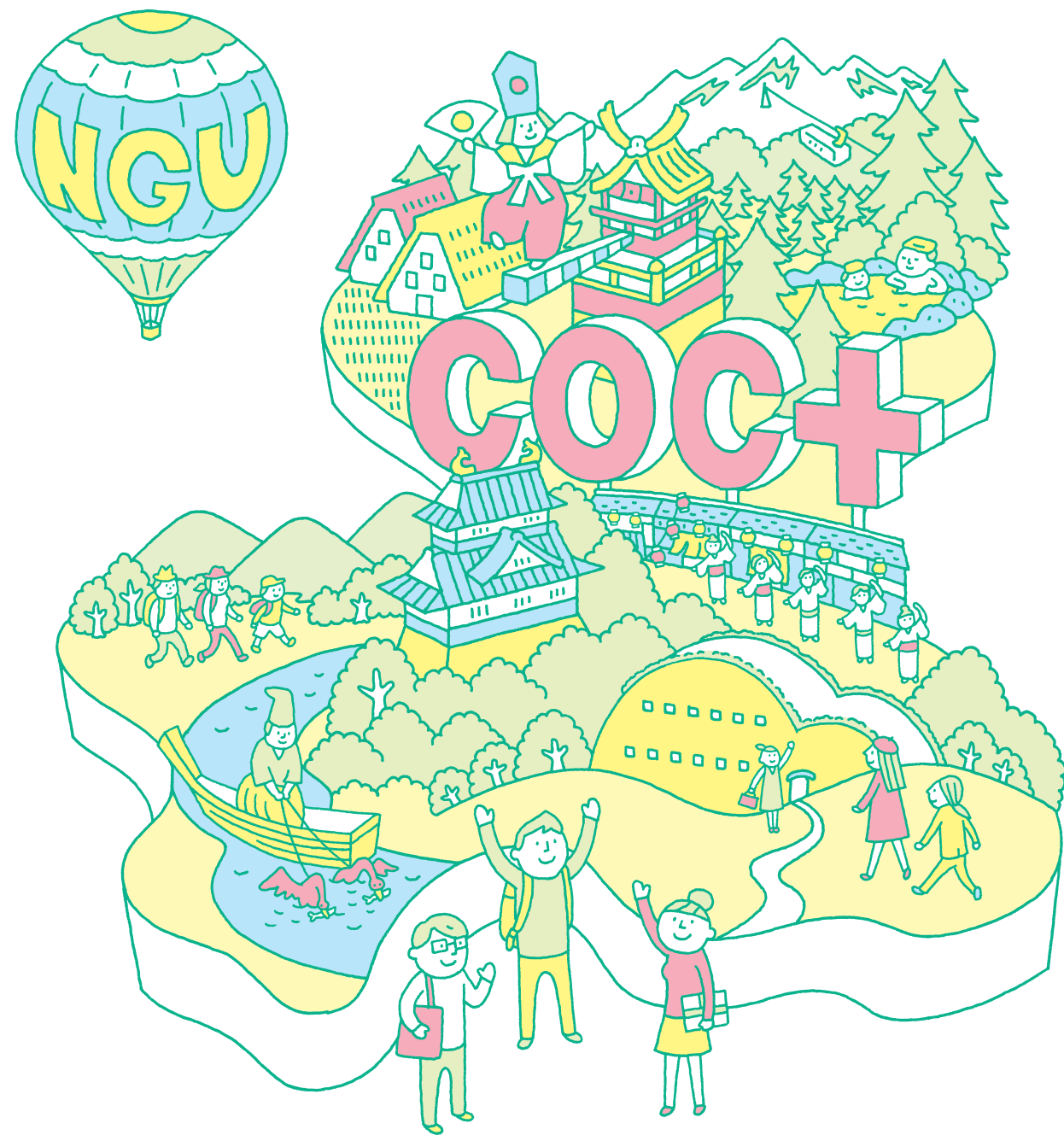
最
終
発
表
会

多治見市役所経済部産業観光課
水野 康次郎氏

多治見のタイル産業は時代と共に変化してきた歴史があり、その中で、現在のタイル商品群と直面している課題がある。このことを理解した上で考えてほしいとの思いから、かなり詰め込んだタフなコースとなりましたが、学生の皆さんには、バックボーンをしっかりと理解して頂いた上での、若い感性を盛り込んだ素敵な発表をして頂きました。モザイクタイルミュージアムのリピーター増加と若者誘客を狙ったハート形のタイル+キャッチコピーの提案や、左官屋さんを講師としたタイル内装のDIY教室の提案等、市の産業観光に対する課題に踏み込んだ素晴らしい発表でした。

「地域の質」を高める
「地」域連携・「知」識還元型まち育て事業

岐阜でステップ×岐阜にプラス
地域志向産業リーダーの協働育成



名古屋学院大学(日比野学舎) 社会連携センター
〒456-0062 名古屋市熱田区大宝三丁目1番17号
Tel. 052-678-4085 Fax. 052-682-6813

「地(知)の拠点整備事業」
大学COC+事業
PROJECT &N 詳しいお問合せは、
renkei@ngu.ac.jp

キャンパスのある名古屋・瀬戸の地域課題解決をはかるプログラム

COC事業「地(知)の拠点整備事業」

COCとは、Center of Communityのこと。大学等が自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的としています。

名古屋学院大学が取り組む「3つのまちづくり」

「地域商業」「歴史観光」「減災福祉」の3つのまちづくりアプローチから、地域の課題を解決していきます。それによって、名古屋市、瀬戸市の活力を取り戻し、持続性の高い地域づくり、すなわち「地域の質 (Quality of Community)」の向上を図ります。



地域商業まちづくり

商店街活性化などを通じて地域経済効果の増大をはかります。

歴史観光まちづくり

歴史の掘り起こしや地域資源の発掘により歴史観光を推進します。

減災福祉まちづくり

学生パワーを活かした災害に強いひとづくり・まちづくりをめざします。

COCからCOC+へ。岐阜県の地方創生や若者の人材育成に関するプログラム

COC+事業「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」

名古屋学院大学は、2013年度から文部科学省認定の地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)を実施しており、地域で活躍する人材の育成に取り組んでいます。2016年度からは、新たに就業を前提とした『COC+(プラス)』を開始。連携大学・自治体・企業・金融機関が協働して地元企業と学生との関わりを強化し、地域のニーズにより適合した人材を育成することで、地元定着の促進を図ります。また、大学の知を活用した産官学共同研究を通じて、産業振興を促進し、雇用創出の取組を進めます。

飛騨高山 観光地域づくり 人材育成プログラム

観光地域づくり人材育成プログラムは、地方における就業の定着を目的に、地域と大学が各々の資源を活かして共同で人材育成を行います。高山市の観光産業でのインターンシップでサービス提供のノウハウや企業経営を学ぶと同時に、地域理解と情報発信の実施を通して、コミュニケーション力や課題解決力といった社会的スキルを身につけます。



COC カリキュラム

歴史観光

課題解決型 授業 (PBL)

全学生が履修できるNGU教養スタンダード科目に「地域理解」分野を開設し、3つのまちづくりについて学ぶ7科目を開講。地域での実践を通じて、現場重視の調査・分析・提案を行います。また、これらの科目は、リーダー格の受講生が継続履修できる「スパイラル型学習」となっています。

基礎学習

(高山演習を受講するにあたり義務づけられる授業)

① 歴史観光まちづくり学 (観光をとりまく社会理解)

- 観光概論(観光市場、宿泊産業、交通、ツーリズム産業など)
- 地域づくりと観光の関係(観光地とマーケティング、情報発信など)
- 新しいツーリズム、着地型観光



② 歴史観光まちづくり演習 (観光を題材とした地域での実習)

- 名古屋、瀬戸における観光資源の活用(観光拠点の活性化など)
- 受入地域としてのホスピタリティ(地域イベントの運営サポートなど)



プログラムの魅力

- 高山市の事業者らと共に行う演習は、観光産業の就職に強みとなります！
- 就業前提のプログラムは、高山市へのUターンに直結します！

夏季の高山演習

I. 観光産業・企業経営の理解 (インターンシップ)

- サービス産業のサービス提供のノウハウ、機能と組織体系を理解します。
- 「旅行者(サービスを受ける側)」と「受入側(サービスを行う側)」の両者の視点で課題解決に取り組みます。
- インターン受入企業別に課題を設定し、インターンをしながら課題を解決します。

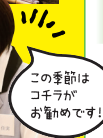


II. 地域づくり

- 観光体験、地域の代表的な企業訪問などを実施し、高山理解を深めます。
- 高山の観光客の実態を知り、喜ばれる観光案内や地域全体を魅力的に発信する方法を考え実施します。



人気スポットを
教えて！



公表

企画立案・事業報告
上級まちづくりマイスター認定

「まちづくりマイスター」
認定プログラム

まちづくりに関する科目単位の修得や外部資格を取得した学生のうち、一定の基準を満たした者を「まちづくりマイスター」として認証しています。

初級まちづくりマイスター (地域商業・歴史観光・減災福祉)

<3つのまちづくり分野ごとに認定を行います>

まちづくり学 + まちづくり演習

上級まちづくりマイスター (地域商業・歴史観光・減災福祉)

まちづくり学 + まちづくり演習 + 上級まちづくり演習⁽¹⁾ + 外部資格⁽²⁾

(1)減災福祉においては、「ボランティア演習」でも可
(2)外部資格 <地域商業>ボランティアコーディネーション力検定3級資格取得
<歴史観光>「観光地域づくり人材育成プログラム(COC+事業)」への参加・修了
<減災福祉>ボランティアコーディネーション力検定3級資格取得又は 災害ボランティアコーディネーター養成講座修了

参加者の《声》



経済学部3年
工藤 悠佑

インターン先の社長さんたちとの関係ができ、観光プランを高山の人達に相談して完成させたことで自信ができました。プラン作りで地域を売る楽しさを見出し、観光分野での就職への視野が広がりました。



経済学部2年
中並 大樹

地元の企業を知りたくて参加しました。企業訪問や観光体験をして、知らなかった高山に触れることができました。他の学生が高山について感じることもわかり、地元のいい面や足りない面を考える機会になりました。